

生徒たちの未来は

自分が子どもの頃には、パソコンもスマホもありませんでした。今の生活の中で当たり前になっていることが、当時は想像すらできませんでした。今を生きる生徒たちが、社会の主力となって活躍する10年、20年後は、いったいどんな世の中になっているのでしょうか。学校では、学習指導要領を基に、様々な教育活動を行っています。この学習指導要領も、未来を見据えて、子どもたちが将来を生き抜いていく上でどんな力が必要になるかということ念頭に置きながら作られています。今後、社会はますます加速度的に変化し、生徒たちが大人になったときには、現在にはない「未知の課題」がたくさん生まれてくるでしょう。その未知の課題に対応し、さらにその先の未来を拓いていく力を身に付けさせるために、我々大人はどうすればよいのでしょうか。

私は、「自分で考え、行動する」機会をたくさん与えることだと考えます。子供にも、決められること、できることはたくさんあります。何でもかんでも周囲の大人がやってしまうことは、子供たちの主体性を奪うだけでなく、自己肯定感や幸福感の低さ、当事者意識のなさを生むと言われています。その結果、「良いことは自分の手柄。悪いことは全て他人のせい」「自分がやらなくても誰かがやってくれる（解決してくれる）」という残念な人間に育ってしまう恐れがあります。

「自分の未来は自分で作る」という強い意志こそが、社会がどのように変化しても乗り越えていける人間の重要な資質ではないかと思います。

1年生がスキー宿泊学習に行ってきました

1月15・16日に、1年生は福島県耶麻郡猪苗代町にあるリステルスキーファンタジアで2日間にわたってスキー宿泊学習を実施しました。

暖冬の影響で1日目は雪が少なかったのですが、夜から2日目にかけて雪がたくさん降り、スキーはもとより雪国の暮らしを体験することができました。ほとんどの生徒が初心者でしたが、スキーの基本的な技術をマスターし、ゲレンデを颯爽と滑る姿が印象的でした。また、宿泊をとおして友達との新たな絆が生まれたことと思います。



那珂湊中学区少年の主張大会で発表しました

1月27日に、しあわせプラザにおいて、5年ぶりに湊地区少年の主張大会が開かれました。本校からは、発表者として、瀧口愛琉さんと眞家右京さん、司会者として、広瀬朱里さんと吉田奎太さんが参加しました。4名とも素晴らしい発表、司会ができました。また、当日は吹奏楽部も参加し、素敵な演奏を発表してくれました。

